

名古屋アイスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS

～ 世界へのプレゼントになろう Be a gift to the world ～
2015-16 年度国際ロータリー会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン

例会日:毎週水曜日 13:00～14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創立:2013年6月5日

会長:安井 忠 「楽しく・深く理解するアイリス」



- 斉唱 それでこそロータリー
- 司会 加藤 晴美 会員
- 出席者報告 出席者数 29 名 / 会員数 37 名
出席率 78.4%

前々回(第118回)の修正出席率報告はなし。

■ ビジター・ゲスト

今回はみえませんでした。

■ ニコボックス報告

藤森 淳 会員

今日は朝から雪になりました。息子は朝、空を見上げて自転車で大学に向かいました。私も自転車で来ましたが、親子で自転車。健康に良いです。

加藤 晴美 会員

また風邪をひいてしまいました。鼻声での司会になります。ごめんなさい。

片桐 栄子 会員

先日、スターウォーズを観てきました。あらすじを教えてほしい人は片桐まで。

安井 忠 会長

雪です。寒いです。インフルエンザはやっています。円高、株安です。正月明けから一つもいいことはありません。皆様ご自愛いただきがんばりましょう。

■ 会長挨拶

「あほう、かしこ」と言う言葉があるそうです。人間には「かしこ、かしこ」・「かしこ、あほう」・「あほう、かしこ」・「あほう、あほう」の4つの

タイプがありますが“かしこ”は賢いと云うことで“あほう”は読んで字の如しです。

「かしこ、かしこ」のタイプは相手にしたらうとうしくてやりきれないが「あほう、あほう」でも困ってしまいます。

「かしこ、あほう」は賢そうだが肝心なところが抜けていて理想は3番目の「あほう、かしこ」であります。

これは一見抜けているように見えるがその実、締めるところは締め 押えるところは押えております。人間として安心できるのはこのタイプであります。4つのタイプ分けは会社組織の長についてもまったく同じことが云える筈であります。

「知にして愚をよくすれば 即ち天下の知 加わるものなし」と云う古い中国の言葉があります。

自分に知恵があるうえに 自分を愚か者と考えて他人の意見を受け入れることができるようになるならば もはやこれに加える知恵はない と云うことです。

組織の中で皆と一緒にやっっていこうと思ったら

「あほう、かしこ」に生き 「知にして愚」でいたほうがいいのではないのでしょうか。

そうしてこれがビジネスマンや経営者 そして組織のリーダーにとりまして 必要な条件だと思っております。

「知」はリーダーにとって欠くことのできない条件であり、これが欠けていたのでは たちまち組織の崩壊を招くことになるであります。

しかし「知」が過ぎると組織の細かいところ迄見えすぎ、従って ああでもない こうでもないと迷いばかり多くなってしまいます。

つまり「愚」の部分もなければ 大胆な判断 的確な部下への指示は出せないものであります。

ロータリーとは 私は「知にして愚」を習得する大変よい場であると思っております。

私達 アイリスロータリークラブも いつまでも北ロータリークラブさんに 御迷惑を掛けている訳にはいけません。

名古屋アイリスロータリークラブとして 自主的クラブの運営をしなければなりません。

まず 出席率を何とかとこしましょう。

メーキャップを きちんとやりましょう。

例会に出席する事が まず自主運営の第一歩だと思います。

そして ロータリークラブとは と言う事をよく考えて下さい。

ロータリークラブは 超我の奉仕が一番最初に出てまいります。奉仕は ロータリアンを育てます。

それがロータリアンであると 米山梅吉さんは言っています。そして 真心を持ってロータリー活動をしなければならない。

友情と寛容の精神を持ったロータリアンでなければならない。

他のロータリアンから学ぶ視線を持ち もう少しロータリーを理解する様 努力して頂きたい 何と言っても 例会に出席する事が第一である。

かくゆう 私も決して立派なロータリアンでは ありませんが会長というお役目で偉そうな事を申し上げました。

楽しくなければロータリーでなく

面白くなければ //

明るくなければ //

例会に出席したいと思えるアイリスにしたい。

会長挨拶を終わります。

■幹事報告 (代理：菊池 富士子 会員)

例会を急きょ欠席される場合には、当グランコート名古屋のほうにご連絡いただくよう、お願いいたします。

■クラブフォーラム報告

(1) ロータリー財団・米山奨学

委員長 藤谷 猛

まずロータリー財団について発表させていただきます。

2015年8月7日に名古屋東急ホテルで開催されました「RI第2760地区ロータリー財団セミナー」に島村幹事とともに参加させていただきました。ここでは前年度の全補助金事業の紹介、AMDA 社会開発機構の紹介、ポリオの取り組み、奨学金・学友・平和フェローシップの意義など多岐にわたり学ぶことができました。

2015年10月6日には第1回ロータリー財団委員会全委員会が開催されましたので、担当理事である藤谷、担当委員の荒山が出席しました。設立3年目のクラブが財団のしくみをすべて理解したわけではありませんが、久米 博明資金推進委員長、福田 哲三VTT委員長による当クラブでの卓話を通じて財団の資金を上手く利用すれば、経験の少ない当クラブであってももう少し大きな奉仕プロジェクトに活用できることを学びました。



荒山委員は地区へ出向しているため主にVTT委員会を中心に今回までに3回ガバナー事務所で定期的に開催される個別の委員会に出席しました。

今年度中に社会奉仕のプロジェクトの補助金申請も予定しておりますので、社会奉仕担当の会員とも連携して、アイリスの奉仕活動をますます充実したものにしたいと思っております。1月29日には第2回の全委員会が開催されますので、改めて皆様に報告致します。

次に米山記念奨学について発表させていただきます。今年度アイリスは初めて留学生のお世話をするクラブとなりました。ベトナムからの留学生でグエン・フォン・ティミンさんといいます。名古屋大学国際開発研究科の修士課程でお勉強をされています。上半期は授業を重なり例会への出席は夜間のみになっておりましたが、3月にはこの昼間の例会にも出席できそうです。

米山奨学会へは、ボルジド委員が出向しており、荒山委員がグエンさんのカウンセラーになりました。2015年4月16日にオリエンテーション、6月6日にアサヒビール見学、11月8日には京都での日帰り研修旅行などがあり、12月12日にはキャッスルプラザでの忘年会で上半期の締めとなりました。グエンさんのお世話期間は2年間ですので、引き続き昨年同様、青少年奉仕に努めます。

以上、委員長報告とさせていただきます。ありがとうございました。

(2) 会員増強委員会 片桐栄子 委員長
会員お一人お一人の力で1名でも多くの会員を獲得できるよう、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

なお、女性会員の獲得に対して賞が用意されていません。表彰されるように頑張ります。



(3) 広報委員会 佐藤 義郎 委員長
地区合同の委員長会議に出席いたしました。当委員会としましては、沖会員のお力が90%、藤谷会員のお力が10%であり、このお二人により成り立っております。大変感謝しております。



特に目立った活動はしていませんが、ウイークリーレポートにつきましては、一定の仕組みやフローができたことで、次期広報委員会への引き継ぎがスムーズにいくと考えております。

以上